

令和6年度第5回我孫子市子ども・子育て会議 会議概要

1. 開催日時 令和7年3月1日（土）9：30～11：10

2. 開催場所 分館大会議室

3. 出席者

委員 箕輪会長、菅井副会長、増田委員、菅原委員、太田委員、鈴木委員、布施委員
小澤委員、野崎委員 以上9名 （欠席：大島委員、松澤委員 以上2名）

市職員 星部長、石山保育課長、鈴木子ども相談課長、三澤こども発達センター所長

事務局 子ども支援課 阿部子ども支援課長、三宅主幹、渡邊係長、成瀬主任主事

傍聴 1名

議題

（1）第五次我孫子市こども総合計画について

（2）我孫子市保育園等整備計画（案）について

（3）保育園利用定員・認可定員について

（4）傷害致死事件について

5. その他

6. 配付資料

資料1 我孫子市保育園等整備計画（案）

資料2 保育園等認可定員・利用定員

資料3 令和4年男児傷害致死事件 裁判の経過と判決について

資料4 判決文

7. 議事要旨

【事務局（阿部子ども支援課長）】（議題までは事務局が議事進行を務める）

資料の確認、出席者8名（野崎委員未入室）により会議の成立を報告し、議事概要作成のための録音について了承を得た。また、傍聴人1名を報告した。

【星子ども部長】

— 星部長挨拶 —

【事務局（阿部子ども支援課長）】

この後の議事進行は、我孫子市子ども・子育て会議条例第6条第1項により、箕輪会長にお願いします。

【箕輪会長】

それでは、次第に沿って議事を進めます。

議題①第五次我孫子市こども総合計画について、事務局より説明をお願いします。

【事務局（三宅主幹）】

— 議題①第五次我孫子市こども総合計画について、説明 —

・パブリックコメント実施の報告

期間：令和6年12月16日から令和7年1月15日

結果：提出人数10名（内、子ども・若者3名）、意見総数16件（内、子ども・若者9件）

・答申日は3月28日を予定

【箕輪会長】

ご意見、ご質問などがありますか。

ないようですので、次に、議題②我孫子市保育園等整備計画（案）について、保育課より説明をお願いします。

【石山保育課長】

— 議題②我孫子市保育園等整備計画（案）について、説明 —

・子ども総合計画の下位計画として、保育園等整備計画を策定している。

・第三次我孫子市保育園等整備計画【改訂版】が令和6年度末で終了することから、現在の状況や今後の保育ニーズ量等を分析し、令和7年度から令和16年度までの10年間について、新たに第四次我孫子市保育園等整備計画を策定する。

・市はこれまでも本計画に基づき、保育園、小規模保育園事業所の新設や保育園・幼稚園の認定こども園への移行、また施設の老朽化による施設整備の改善を実施し、待機児童ゼロを継続してきた。

・市民ニーズ調査から今後も保育需要は高い状態が続く傾向であるが、本市は国が示す子ども一人当たりが必要とする最低有効面積基準よりもゆとりを持って建設されている保育施設が多いことから、各施設の有効面積に応じて弾力化により入園させることが可能であるため、新たな保育施設の整備は行わず、定員の弾力化を図り、年間を通じて定員の確保を行っていく。また、定員割れ等の課題が生じてきた場合は必要に応じて利用定員の減員変更を実施していく。

・教育・保育需要を踏まえた今後の課題としては、29ページに記載のとおり、近年では育児休業を2歳まで延長できるため、0歳児での入園を希望せずに、育児休業を延長する家庭が多く、年度途中まで0歳児クラスの定員に空きがある状況が続いている。また、保育園等では保育士不足が喫緊の課題であり、4月当初の在籍児童を保育できる保育士数を超えての保育士を確保することが難しい状況である。そのため、年度途中には多くの園が定員に空きがない状態になる傾向にあり、入園しづらい状況になっている。市は引き続き、私立保育園等に対し、給与加算手当や宿舍借り上げ制度などを補助しながら、保育士確保に向けて支援していく。

【箕輪会長】

ご質問などがありますか。

布施委員、お願いします。

【布施委員】

保育士確保に向けて支援していく旨ご説明いただきましたが、現場では保育士不足が本当に深刻です。保育士が不足している一方、気になる子ども、個別に支援が必要な子どもは増えています。そのような現状から、私立保育園などに対し、給与加算手当や宿舍借り上げ制度などの補助をしていただけるというお話でしたが、他に何か保育士確保のための市の動きはありますか。

【石山保育課長】

現在も私立教育保育連盟と協議していますが、さまざまな補助金がありますので、見直しを行うなど、活用の検討について引き続き協議していきます。

【箕輪会長】

よろしいでしょうか。

増田委員、お願いします。

【増田委員】

私の知り合いにも保育園に勤めている方がおり、いつも忙しいと言っています。

保育士不足を解消するために、保育士を増員することができれば一番良いと思いますが、それが叶わないのであれば、保育士は保育に従事できるよう、事務作業など、保育士の資格がなくてもできる仕事は事務員、用務員などを採用していただくことで、保育士の負担を軽減することはできないかと思いました。

【箕輪会長】

ありがとうございます。何かそのような取組はされていますか。

【布施委員】

はい、根戸保育園でも用務員や事務員を配置し、保育士は子どもたちの保育を行っています。先ほどお話をいただきましたように、気になるお子さん、個別に支援が必要なお子さんが増え、保護者の園に対する要望が大きくなっているように感じます。

財源の範囲内にはなりますが、保育士の確保に向けて検討を重ねているところです。

【箕輪会長】

ありがとうございます。他の園の取組についてはご存じですか。

【石山保育課長】

どの園も同じです。用務員や事務員、保育室に入らない先生など、それぞれの園が考えて配置しています。ただ、布施委員がおっしゃられたように、気になる子ども、個別に支援が必要な子ども

が増えている状況ですので、保育士の資格のある方の方が対応できることも多くなり、やはり保育士が必要だと思います。

【箕輪会長】

ありがとうございます。

保育士さんへの研修のほか、気になるお子さんや障害の診断を受けているお子さんなどに対して、支援されていることやサポートできそうなことはありますか。

【石山保育課長】

我孫子市では、公立保育園、私立保育園合同の研修を実施しており、気になる子どもへの対応についても、研修で勉強していただいています。また、保育課に心理相談員がおり、私立保育園にも巡回をして、いろいろな相談を受けています。

【箕輪会長】

かなり以前から我孫子市ではそのような対応をしていただいていると思いますが、その対応では追いつかなくなってきているのではないのでしょうか。増田委員がおっしゃられたように、保育士でなくてもできる仕事への対応のほか、支援が必要なお子さんへの対応についても、現在実施されていることだけにとどまらず、探っていただけたらと思います。

それでは、続きまして、議題③保育園利用定員・認可定員について、保育課より説明をお願いします。

【石山保育課長】

— 議題③保育園利用定員・認可定員について、説明 —

・利用定員を設定するために必要な手続きとして、子ども・子育て支援法第31条第2項により、我孫子市子ども・子育て会議に諮る。

・学校法人中野学園わかくさこども園は令和7年度利用定員を変更する予定である。

わかくさこども園は、令和4年度に幼稚園から幼保連携型認定こども園に移行した。移行から3年が経過し、安定した保育が行われている。当初から0歳児の受け入れを想定した計画をしており、態勢が整ったため、0歳児クラスを創設する。

また、保育認定である2号・3号認定の需要が増加しているため、教育認定である1号認定の利用定員を39名から25名に減らし、2号・3号認定の利用定員を60名から70名に増やします。

近年の傾向として、教育認定による入園が減少傾向にあり、保育認定の入園が増加しているため、今回の利用定員の変更は、実情に合わせた適切な変更であると考えています。

【箕輪会長】

ただいまのご説明について、何かご質問などはありますか。

私から1点よろしいでしょうか。育児休業を延長する家庭が多く、年度途中まで0歳児クラスの定員に空きがある状況が続いているというご説明を先ほど受けましたが、そのことも踏まえた上で、0歳児クラスの利用定員を6名設定するという理解でよろしいでしょうか。

【石山保育課長】

はい、きょうだいがいて、本当は0歳児クラスから入園したいけれども、他の園に入園して、1歳児から転園してくるケースもあります。また、0歳児が減っているとは言え、年間を通して減っている訳ではなく、年度途中にはいっぱいになってしまっている現状ですので、実際の需要に合わせて、0歳児枠はある方が良く考えます。

【箕輪会長】

ありがとうございます。皆さま、よろしいでしょうか。

それでは、議題④に移りますが、この後の議事は非公開になります。

本日は傍聴されている方がいらっしゃいますので、発言がある場合には3分以内をお願いします。

【傍聴人】

私も、先ほどお話があった保育士でなくてもできる仕事、用務員などについての提案です。

私は決まった日時に勤務することができず、スポットかつ直前になってしまいますが、「保育園でお手伝いがしたい」とてとりあに相談に行きました。保育園としては、1日だけ手伝いに来られても困るのではないかとと思うところもありますが、そういう働き方の人にも来ていただかなければ、現在の保育士不足は解消されないと思います。そこで、隙間時間のバイトや1日バイトなどと同様に、スポットで短時間であれば手伝えるという方をまとめるコーディネーターのポジションを正式に検討したり、定年を迎えた方やシニアの方にも手伝ってもらいやすい雰囲気を作ったりすることが市の取組として大切だと思います。検討をお願いします。

【箕輪会長】

ありがとうございました。事務局から何かありますか。

【石山保育課長】

公立保育園もてとりあに登録しています。状況に応じて、過去に草刈りなどを1日だけ依頼したこともあったと思います。

スポットワークの保育士については、国から通知も出ていますが、保育士は子どもたちの日々の成長と変化を見守る仕事であり、スポットで毎日異なる保育士が勤務しているという状況は子どもたちにとって望ましい状況ではないと考えます。子どもを長時間にわたり保育できる常勤保育士であることが原則であり、望ましいこととされていることを踏まえると、スポットワーク保育士を保育士一人として換算することは望ましくありません。保育現場は人と人のつながりが大きいため、難しいと感じています。

【箕輪会長】

ありがとうございました。傍聴人はここで退出となります。

それでは、議題④傷害致死事件についてです。子ども相談課より説明をお願いします。

----- 議題④傷害致死事件について （非公開） -----

《 意見総括 》

自宅への訪問以外に、足を運んでもらえる相談先を知ってもらうこと、周囲が見えない心理状態になっている時にメンタルトレーニングを受けられるようにすること、子どもの発達や成長を知る機会を提供すること、虐待が起きる前に妊婦の段階から市に相談しやすい、ちょっとしたおしゃべりができる雰囲気を感じてもらう、地域につながりやすくするなど、さまざまな視点からのご意見をいただきました。

子どもの大切な命が失われるという事件が二度と繰り返されることがないように、今日いただいたご意見やご提案を検討し、対策に取り組んでいただきたいと思います。

【箕輪会長】

本日予定していた議題はすべて終了しました。全体を通して、何かご意見やご質問はありますか。その他の事項として、何かあればお願いします。

【事務局（阿部子ども支援課長）】

事務局から委員の退任についてご報告させていただきます。

本日は欠席されていらっしゃいますが、松澤委員、また、先ほどご意見をいただきました太田委員の2名が今年度末をもって、退任されることとなりました。後任については、事務局にて委嘱の手続きを進めていきます。太田委員は、今回が最後の会議になります。ひとことご挨拶をお願いします。

【太田委員】

お世話になりました。

湖北地区公民館で勤務していた頃、また、学校運営協議会の委員をしていた頃は、学校行事に参加し、子どもたちを見ることができ、また、先生たちから学校の問題などについて、生の声を聴くことができました。そのつながりがなくなってしまったことが退任を申し出た理由です。

子ども・子育て会議の委員をしている間、私が注視してきた事業はいじめと不登校の問題で、早期発見・早期解決につなげるためにはどうしたらよいのか、ずっと考えてきました。

長い間ありがとうございました。

【事務局（阿部子ども支援課長）】

ありがとうございました。

他の委員については、あと1年任期がありますので、次年度もどうぞよろしくお願いいたします。令和7年度は、年間2回の会議を予定しています。第1回は5月末から6月末、第2回は2月を予定しています。後日メールで皆さまのご都合をお伺いいたしますので、日程調整へのご協力をお願いいたします。

そして、来年度は次期委員の改選があります。会長、副会長におかれましては、会議の後に委員改選について、少しお話をさせていただきたいと思います。お時間がございましたら、お残りいただけますと幸いです。

増田委員、菅原委員におかれましては、子ども関係団体からのご推薦で今期が3期目となります。令和8年度からお引き受けいただける委員を団体からご推薦いただけるかどうかご検討いただきまして、事務局へご連絡いただけますようお願いいたします。

その他、私立保育園連絡協議会、私立幼稚園協会、学童や保育園等については、改めて、事務局より団体あてに推薦をお願いいたします。

また、次期計画に子ども・若者計画を包含したことから、大学生にも子ども・子育て会議委員を委嘱することを検討しています。委嘱にあたっては、条例改正が必要となりますので、事務局で準備を進めているところです。詳細につきましては、令和7年度第1回子ども・子育て会議でご報告させていただきます。

【箕輪会長】

ご質問などはありませんか。

ないようですので、これで、令和6年度第5回子ども・子育て会議を閉会します。長時間にわたりおつかれさまでした。

～ 終了 ～